

協働推進モデル事業計画書 (本提案用)

(記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書は A4 サイズ 4 ページ以内で作成してください。)

提案団体名	団体名	特定非営利活動法人アートファーム
	合同提案団体 (* 協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。)	
提案事業の名称	学校とアートがつながるモデル事業	
提案事業の目的	文化芸術のアーティストを学校に派遣し、創造体験や鑑賞体験などを通じて子どもたちの表現力や自主性を引き出し高めるとともに、教師の指導力のスキルアップにもつなげ、併せて、学校活動への保護者や地域の人々からの関心と共感を高めることを目的とする。	
課題の緊急性・重要性 (市民ニーズ含む)	<p>1. 解決する課題</p> <p>例えば、見たことや感じたことを音楽・劇・ダンス・絵などに表現してみる。それを自分で取り組んで最後までやり遂げる。あるいは、一緒にみんなと協力しながら創り上げてみる。そのプロセスで日頃の学校生活では気づかなかった友達のよいところや新しい魅力を発見する。または、芸術家の表現している姿や形を目の前で見たり聞いたりして、それを自分自身も体験できる。</p> <p>本提案事業は、こうした子どもたちの潜在的な創造性や自主性や協調性を引き出し高めることを目的としている。音楽・演劇・舞踊・美術分野のアーティストが学校に関わることによって、通常のスタイルの授業だけでは達成できなかった課題へのアプローチとなる。それは子どもたちに対する課題解決にとどまらず、教師の指導力を高めたり広げたりする効果もめざしている。</p> <p>2. 市民ニーズ</p> <p>これは保護者や学区のニーズともいえる。地域にとって学校は昔も今もコミュニティーの核であり、その核となる学校が生き生きと元気に活動している姿は、地域の活性化にも好影響を及ぼすにちがいない。アーティストを学校に派遣する本提案事業は、子どもたちとの創造体験や鑑賞体験を通じて、学校が生き生きと元気に活動している姿を、地域に発信する事業ともいえる。</p> <p>3. 課題解決の方策</p> <p>教育現場の課題解決を図る取り組みとして、本提案事業は企画立案の段階から実施校との協議を行い、学校ニーズに合致したプログラムとアーティストを決定し実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校の選定 ↓ 今年度は岡山市内の小学校を対象に選定作業をする ・実施校とのヒアリング ↓ 実施校が決まりしだい学校に出向いて、教育現場のニーズや要望をリサーチする ・文化芸術分野とアーティストの選定 ↓ 学校ニーズをもとに音楽・演劇・舞踊・美術の中から分野とアーティストを決定する ・派遣スケジュールの調整とプログラムの決定 ↓ 学校とアーティストのスケジュール調整をもとに実施日と実施プログラムを決定する ・アーティストの派遣・体験活動 ↓ 実施校にアーティストを派遣し、プログラムの創作体験活動や鑑賞体験活動を行う ・体験活動の成果発表 ↓ 創作や鑑賞の体験活動を経験した子どもたちがその成果を発表する ・課題解決の達成度と今後の方策 ↓ 児童へのアンケートと教師へのヒアリングを通じて事業の成果と今後の方策を協議する 	

<p>協働の必要性 及び効果と目標 (協働の役割分担を 含む)</p>	<p>1. 協働の必要性と相乗効果 本提案事業は、教育と文化を横断する事業であり、それぞれの分野を所轄する担当セクションとの協働により、教育面では、学校環境や地域事情に即した実効性の高い内容としたい。一方、文化面では、芸術家や実演家が自らの表現活動だけにとどまらずアウトリーチの可能性を切り拓ける内容としたい。この目標を達成するために、NPO法人アートファームは20余年にわたる活動で培ったワークショップ事業の企画・制作・運営のノウハウと、文化芸術分野の人的ネットワークを生かして、事業の相乗効果を発揮したい。</p> <p>2. 提案団体が果たす役割 実施事業の企画制作全般（学校と講師の調整、内容の策定、体験授業の運営）</p> <p>3. 岡山市の担当セクションと市が果たす役割 実施校とのコーディネート：教育委員会事務局指導課 実施事業の広報・PR：文化振興課 体験授業への帯同：教育委員会事務局指導課、文化振興課</p> <p>4. 期待する事業成果・目標値等 文化芸術のアーティストを学校に派遣し、創造体験や鑑賞体験などを通じて子どもたちの表現力や自主性を引き出し高めるとともに、教師の指導力のスキルアップにもつなげ、併せて、学校活動への保護者や地域の人々からの関心と共感を高めることを目的とする。</p>								
<p>事業の内容</p>	<p>岡山市内の公立小学校にアーティストを派遣し、創造体験と鑑賞体験を伴うワークショップのモデル授業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：プロのアーティスト1名(県外)、アマチュアのアーティスト1~2名(県内) ・対象校：小学校（全校児童対象のモデル授業）1校 ・対象分野：音楽・演劇・舞踊・美術の中から選定 ・対象者：全校児童、教師、保護者、地域住民、他校教師 ・実施期間：平成26年11月～平成27年2月 ・実施回数：5回（ワークショップ4回、発表1回） 								
<p>事業の実施体制</p>	<p>1. 総括責任者 大森誠一</p> <p>2. 個別事業責任者 大森誠一、古本径子、大森美穂</p> <p>3. 事業実施にあたっての専門性やノウハウ ワークショップ事業の企画・制作・運営のノウハウ 文化芸術分野の人的資源とネットワーク</p>								
<p>事業スケジュール</p>	<table border="1" data-bbox="486 1361 1433 1536"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>実施事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月</td> <td>実施校の選定・ヒアリング、派遣アーティストの選定(プロ・県外)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>実施プログラムの決定、派遣アーティストの選定(アマチュア・県内)</td> </tr> <tr> <td>11月~2月</td> <td>派遣事業の実施(5回)</td> </tr> </tbody> </table>	月	実施事業内容	8月	実施校の選定・ヒアリング、派遣アーティストの選定(プロ・県外)	9月	実施プログラムの決定、派遣アーティストの選定(アマチュア・県内)	11月~2月	派遣事業の実施(5回)
月	実施事業内容								
8月	実施校の選定・ヒアリング、派遣アーティストの選定(プロ・県外)								
9月	実施プログラムの決定、派遣アーティストの選定(アマチュア・県内)								
11月~2月	派遣事業の実施(5回)								
<p>実施する上で連携が必要と思われる団体と期待される役割</p>	<table border="1" data-bbox="459 1547 1481 1648"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>期待される役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公益財団法人福武教育文化振興財団</td> <td>これまでの協働実績と今後の継続支援</td> </tr> </tbody> </table>	名称	期待される役割	公益財団法人福武教育文化振興財団	これまでの協働実績と今後の継続支援				
名称	期待される役割								
公益財団法人福武教育文化振興財団	これまでの協働実績と今後の継続支援								
<p>事業の展望及び今後の活動展開</p>	<p>✓NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施することを目指す。 □岡山市の一般施策としていくことを期待する。 ✓次年度以後も協働での実施を希望。 □その他（ ）</p> <p>具体的な目標（計画）があれば記載してください。 NPO法人アートファームは、平成23年度から公益財団法人福武教育文化振興財団からの委託による「学校でひらく舞台芸術教室」を継続実施してきました。この成果をさらにより多くの学校現場に普及発展させたいと願って申請いたしました。NPOが学校とアーティストをつないで、これからの人づくりと地域づくりを推進していく“岡山モデル”が創出されることを切望しています。</p>								

■収支予算案(概要)

<収入>

費 目	金 額	内 訳
自己資金等	100,000 円	年間事業費から捻出
事業収入見込	100,000 円	発表公演の入場料 800 円×50 人=40,000 円 協賛・寄付・カンパ 60,000 円
岡山市補助金(申請想定額)	800,000 円	
合 計	1,000,000 円	

<支出>

費 目	金 額	内 訳
事業実施経費	750,000 円	報償費 400,000 円 旅費 150,000 円 消耗品費 30,000 円 印刷製本費 70,000 円 通信運搬費 50,000 円 使用料・賃貸料 50,000 円
管理運営費	250,000 円	人件費 100,000 円 委託料 150,000 円
合 計	1,000,000 円	